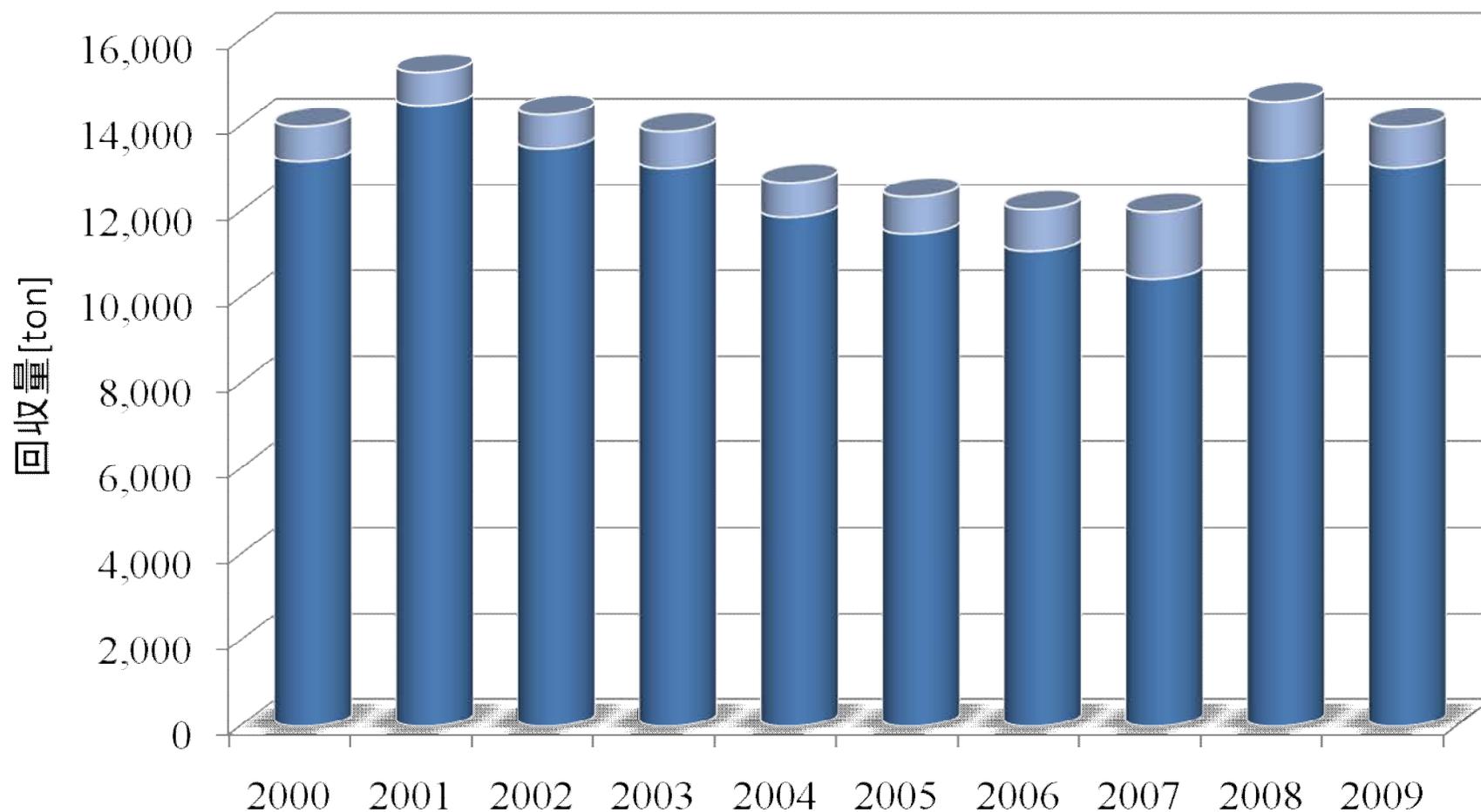


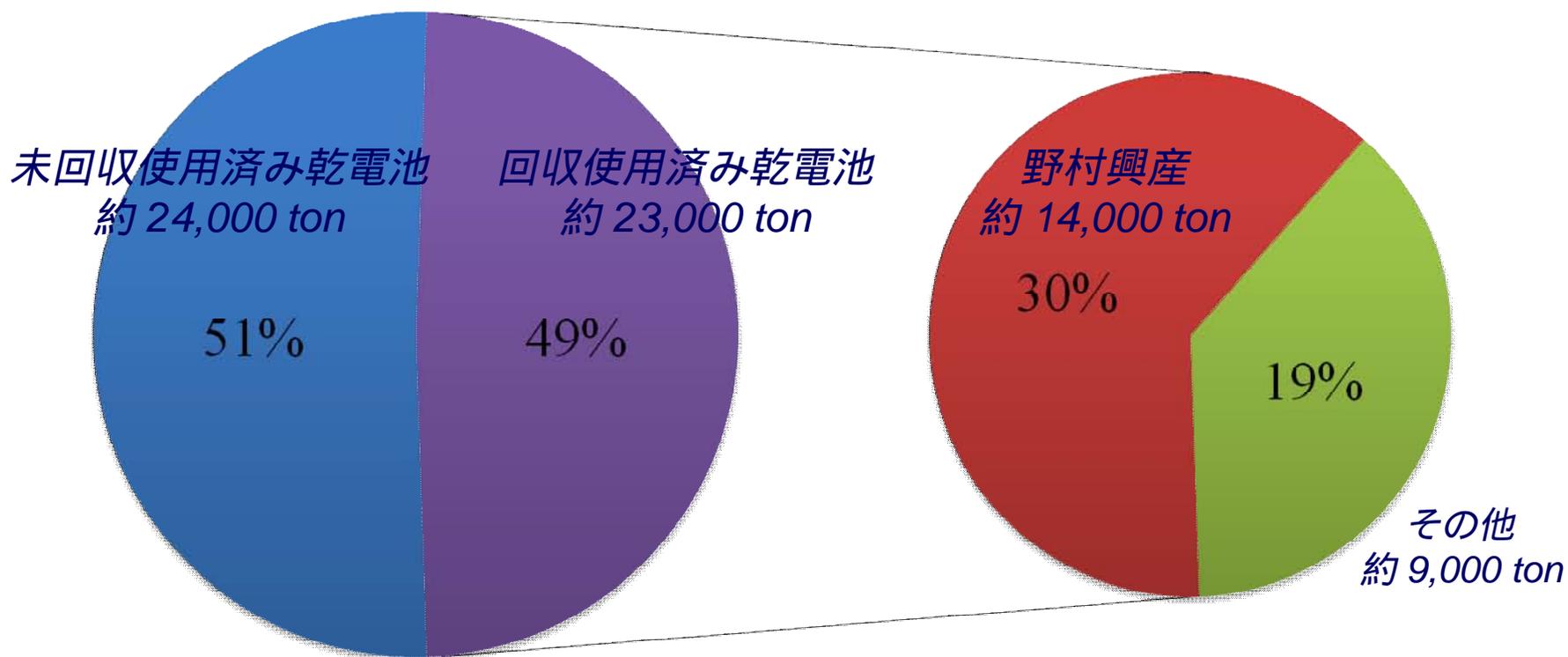
使用済み乾電池回収量の推移



■ 産業廃棄物
■ 一般廃棄物

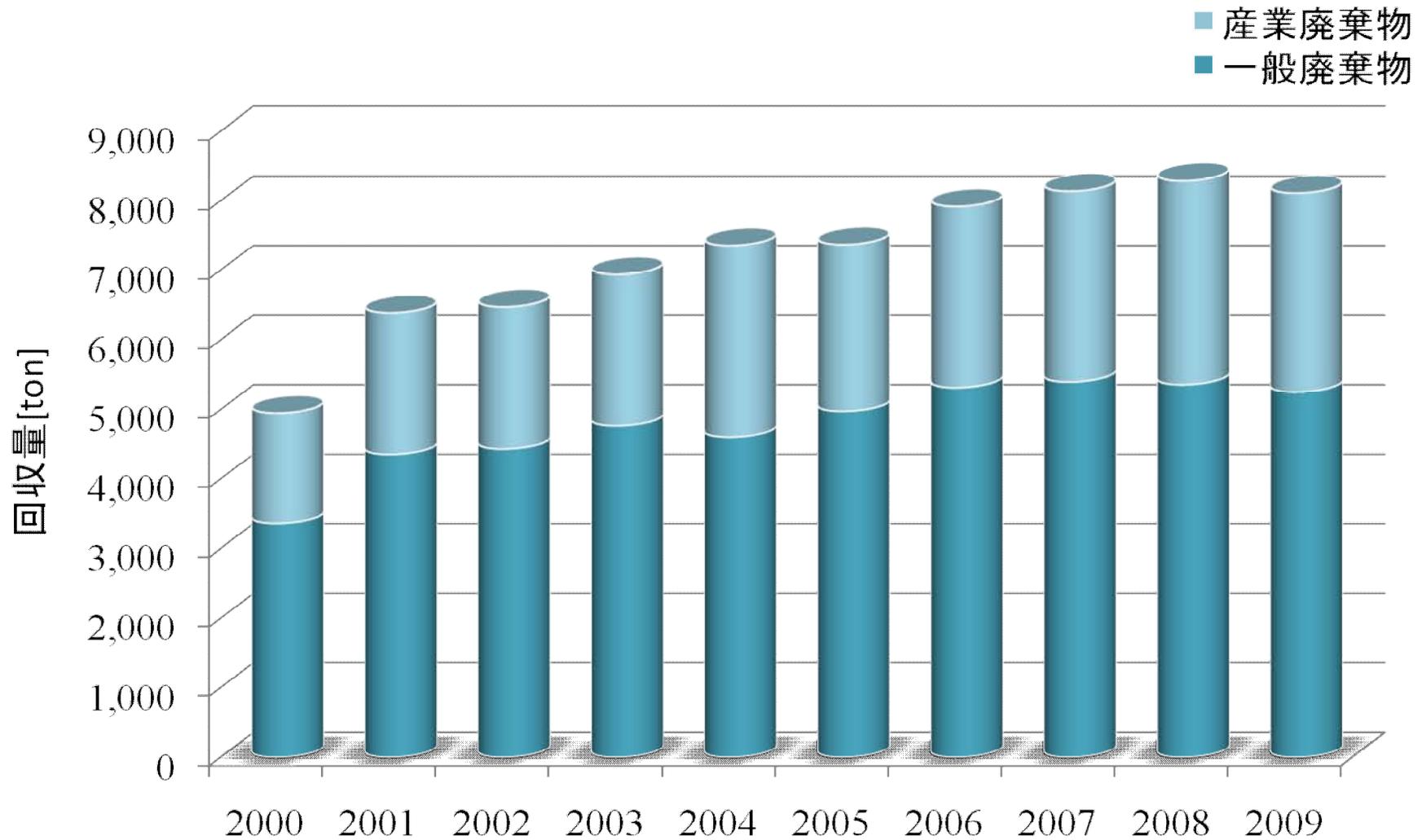


使用済み乾電池回収割合 2009年



野村興産株式会社調査

使用済み蛍光灯回収量の推移

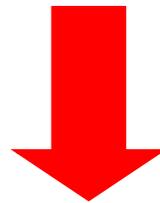


水銀リサイクル - 1

廃棄物処理量 約30,000t/y

廃棄物中の水銀量 約75t/y

水銀非使用廃棄物中の水銀量 約58t/y



入荷水銀の**83%**が水銀非使用廃棄物から！

水銀リサイクル - 2

金属水銀 50 ~ 75t/y



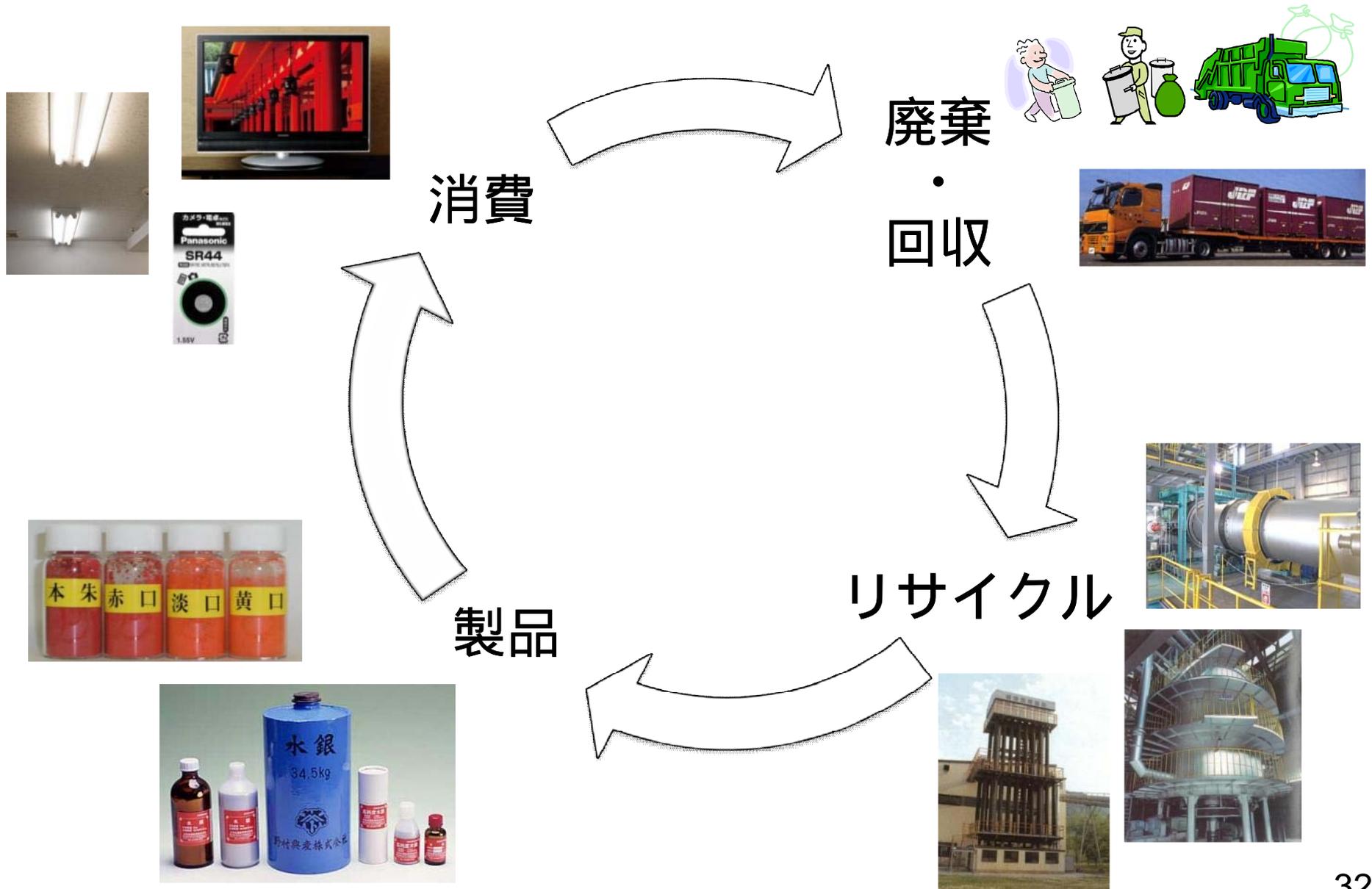
銀朱 1t/y



水銀試薬 100kg/y(56種類)



資源循環型社会



今後のわが国の課題

- ・ 水銀の循環使用
- ・ 安全な長期保管方法

両面を考慮した体制づくりが必要

朱の呪術

血の色でもある「朱」は、活力と蘇生、死との対決、死霊封じ、といった呪術具として利用された。

- ・ 旧石器時代 **ベンガラ**を用い呪術具とした
- ・ 縄文時代 多くの遺物に**ベンガラ**が顔料として利用された。
- ・ 弥生時代後期～古墳時代
祭祀（さいし）や埋葬施設で盛んに使われた。
施朱（せしゅ）の風習の最盛期であった。
辰砂と**ベンガラ**が明瞭に使い分けられていた。



朱染めの人骨



藤ノ木古墳 石棺(6世紀)

煉丹術

古代中国での煉丹術は不老不死を意味し、秦（しん）の始皇帝（西暦200～300年頃）の頃から、不老不死の靈薬の製法として研究されてきた。

中国錬金術のテキスト「抱朴子(ほうぼくし)」によると

「金は朽ちることがなく水銀は変化する。この二種の金属を飲んで、人の身体を煉ることで、不老不死を得る。」

「金丹」とは「環丹(水銀)」と「金液(金)」のことで、仙人になるための薬と伝えられた。



また古代には血液の中に魂が宿ると信じられており、「丹薬」の主剤である「丹沙」が血液と同じ赤い色であり、この色の薬を飲めば魂の力も強くなると信じられ、丹沙を加熱すると気体となることより、やがて丹薬を飲んだ体も軽くなり天界に上る事が出来ると信じられていた。

丹薬

「丹薬」は7世紀の唐（とう）代に流行したが、愛用した歴代皇帝は早死にしたという。原因は「丹薬」の飲み過ぎといわれる。

「丹薬」とは**ヒ素・硫化水銀**を成分とする「丹沙」より作られる。漢代のミイラからは、正常値に比べ約100倍もの多量の水銀が検出されていて、水銀中毒による死と推定されている。



馬王堆漢墓（まおうたいかんぼ） 前漢時代（BC186～168頃）

1971に見つかった。外観は完全で、少しも腐乱したところがなく、顔も目・耳・鼻・口とあまり変形せず、頭髪も薄い。後頭部でたばねたまま残存、身体にはまだ弾力がある。死体からは水銀と鉛がかなり多く検出されているという。

地下宮殿



史記の記述と科学調査報告書である「秦始皇地宮地球物理探測成果与技術」などを参考に、地下宮殿のようすを再現したもの。

「史記」によれば、墳丘の地下には三つの地下水層をうがつほど深く掘られた場所に地下宮殿があり、そこに始皇帝の棺がおさめられたという。水銀を流した川や海があり、また地上の地理を再現していた、と伝えられる。



ご静聴ありがとうございました。